

平成 25 年度調査研究等計画書

事業名	餌料用カタクチイワシの安定供給システムの開発		
事業年度	平成25~27年	事業費 財 源	7,696 千円 (-) (国) (諸)7,696
			担当者 漁業資源課 柳川晋一・稲葉太郎 増養殖環境課 児玉 修・渡辺 貢
<p>【背景・目的】</p> <p>本県の基幹漁業の一つであるかつお竿釣漁業にとって不可欠なカタクチイワシ活餌は、近年県外の活餌業者の減少によりその確保が厳しくなっている。活餌があっても遠地の場合、往復の燃料代や航行時間の増加が操業効率を下げ、経営を圧迫しており、その対策が急がれる。</p> <p>そこで、旋網漁業で漁獲されたカタクチイワシの幼稚魚を養成した活餌（以下、「養成活餌」と呼ぶ。）及び（独）水産総合研究センターが開発した種苗生産技術の移転に基づき養殖した活餌（以下、「養殖活餌」と呼ぶ。）をかつお竿釣漁船に供給する仕組みの確立を目指す。</p>			
<p>【事業の概要】</p> <p>旋網漁業によるカタクチイワシ幼稚魚の確保手法及びかつお竿釣漁業の餌料用サイズまでの養成に必要な手法を確立する。また、種苗生産技術移転による餌料用カタクチイワシの養殖手法を確立することで、両者をあわせて、一定量の餌料用カタクチイワシをかつお竿釣漁業操業船に供給することで、同漁業の効率的な操業を支援する。</p>			
<p>【全体計画とこれまでの成果】</p> <p>全体計画</p> <p><平成 25 年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 養成活餌の確保に必要な手法の確立 ・ カタクチイワシ種苗生産技術の習得 <p><平成 26 年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年間 15 万尾の養成活餌の生産及びかつお竿釣漁船への供給 ・ 年間 1.5 万尾の養殖活餌の生産及びかつお竿釣漁船への供給 <p><平成 27 年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年間 150 万尾の養成活餌の生産及びかつお竿釣漁船への供給 ・ 年間 30 万尾の養殖活餌の生産及びかつお竿釣漁船への供給 			
<p>【25 年度計画】</p> <p><~6 月></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小型旋網漁業者及び関係漁協等との養成用カタクチイワシ稚魚の漁獲に関する協議 ・ 小型旋網漁場から養成場所への移動用施設（小割生簀）の試作と移動の試行 ・ 瀬戸内海区水産研究所でのカタクチイワシ種苗生産技術習得 <p><7-3 月></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小型旋網によるカタクチイワシ稚魚採捕と養成場所への試験輸送 ・ 養成場所での飼育 ・ かつお竿釣餌料としての適性の確認（9 月：遠洋かつお竿釣船、秋季：小型かつお船） <p><12-3 月></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カタクチイワシ親魚養成試験（平成 26 年 5 月頃まで飼育を継続） 			